学校番号	３１６

平成 31 年度　理科

教科	理科	科目	物理基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改定　新物理基礎（第一学習社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

計算問題や図の作成にも取り組みます。授業内容を難しく感じると思いますので、真剣に授業を受けて下さい。出席日数や授業態度も重要です。テストは各学期に１回のみ行ないます。考査の点数も成績に大きく関わりますので、先生の話を聞き漏らすことなく、テスト勉強もしっかりと取り組んで下さい。2 学期は中間考査になりますので、考査の時期を間違うことがないように、毎回授業を受けて下さい。

2　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高めて、目的意識をもって、観察、実験などを行い、物理学的に探求する能力と態度を育てるとともに、物理学の基礎的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	物理的な事物や現象に関心を持って、意欲的に学習している。	物理的な事物や現象を的確にとらえて、数式や図で表現できる。	物理的な事物や現象に対する実験・観察の技能を習得し、科学的に探求する方法を身につける。	物理的な事物や現象の概念・原理・法則等の知識を身につけて、理解している。
評価方法	授業態度 提出課題 定期考査	授業態度 提出課題 定期考査	授業態度 提出課題 定期考査	授業態度 提出課題 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="4">1学期</td><td rowspan="4">力と運動</td><td>物体の運動</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="4">a:物体の運動による速度変化や物体にはたらく様々な力に関心を持ち、意欲的に学習している。
b:物体の加速度と時間・距離の関係や運動の法則を理解して、数式で表現できる。
c:問題を解決するために、状況を把握して、必要な数式と数値を使用して、適切な答えを得ることができる。
d:「力と運動」に関する語句や式などの知識を習得している。</td><td rowspan="4">授業態度
提出課題
定期考査</td></tr>
<tr><td>落下運動</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>力のつりあい</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>運動の法則</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="4">2学期</td><td rowspan="2">エネルギー</td><td>力学的エネルギー</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="2">a: 物理における仕事の意味とエネルギーとの関係に関心を持ち、意欲的に学習している。
b:力がする仕事、力学的エネルギー、熱について理解し、数式で表現できる。
c: 問題を解決するために、状況を把握して、必要な数式と数値を使用して、適切な答えを得ることができる。
d: 「仕事と力学的エネルギー」や「熱とエネルギー」に関する語句や式等の知識を習得している。</td><td rowspan="3">授業態度
提出課題
定期考査</td></tr>
<tr><td>熱とエネルギー</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">波動</td><td>波の性質</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="2">a: 波の性質や音の特徴に関心を持ち意欲的に学習している。
b: 波の性質や音の特徴を理解し、数式で表現できる。
c:波の性質を表現する数式や作図をして、適切な答えを得ることができる。
d: 「波の性質」や「音波」に関する語句や式などの知識を習得している。</td></tr>
<tr><td>音波</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr>
</table>

3学期	電気	静電気と電流	○	○	○		a: 電荷・電流・磁場やエネルギーの利用(発電等)に関心を持ち、意欲的に学習している。 b: 電流と電気抵抗、電力量と電力、ジュールの法則、電力量と電力について理解し、数式で表現できる。 c:電気回路の接続の種類(直列並列)を判別して、電流・電圧・抵抗の値を適切に答えることができる d: 電気に関する語句や式などの知識を習得している。	授業態度 提出課題 定期考査
		電流と磁場	○					
		エネルギーとその利用	○					

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。